



平成30年度

高校生のための書道講座

主催 安田女子大学 文学部 書道学科

書の基本的な古典にみられる様々な特徴を講師独自の切り口によって取り上げます。各古典の臨書を通して一緒に追究してみましょう。

〔場 所〕 安田女子大学7号館3階 7306書道教室

広島市安佐南区安東6丁目13-1 (アストラムライン「安東(ヤスビガシ) 駅」下車)

〔開講日時〕 8月1日(水) 10:00~15:40

〔内 容〕

午前	<10:00~11:30> 「九成宮醴泉銘の楷書美」 (講師: 増田 知之) 初唐の三大家として名高い欧陽詢の代表作である「九成宮醴泉銘」。本作はまた、「楷法の極則」として中国書法を代表する楷書作品としても知られています。本講座では、その楷書美に迫るとともに、なぜかくも尊崇されてきたのか、本作が誕生した文化史的背景についても触れる予定です。
午後	<12:30~14:00> 「蘭亭序に学ぶ一行書らしさをひも解くー」 (講師: 谷口 邦彦) 「神龍半印本蘭亭序」は蘭亭序の中でも筆路がわかりやすく、行書手本として好適と言われます。本講座では、表現されたその筆路を細かくたどりながら用筆・運筆の特徴を見つけていきます。さらに臨書を重ね、行書手本としての蘭亭序の価値はどこにあるのか、皆さんと探ってみたいと思います。
	<14:10~15:40> 「高野切の世界」 (講師: 信廣 友江) 高野切は、『古今和歌集』現存最古の写本で、平安時代屈指の仮名作品です。その多くは、室町時代以降、分割され、掛軸や手鑑などに仕立てなおされ、多くの人々に鑑賞されてきました。本講座では高野切第三種の連綿や墨つぎなど、その技法の特徴に迫ります。

〔参加費〕 無料

〔受講対象〕 高等学校に在学中の男子女子生徒

(これから書道を始めたい人・書道が上手になりたい人・書道に関心のある人)

〔その他〕 用具はすべて用意しますが、使いやすい筆などを持参しても構いません。

昼食はご持参いただくか、学内のまほろば食堂・セブンイレブンをご利用ください。

〔申込先〕 高等学校名、学年、氏名を下記宛に TEL・FAX またはメールにてお知らせください。

安田女子大学 文学部 書道学科事務室 (松村)

TEL・FAX: (082) 878-7725

E-mail: shodo.box@yasuda-u.ac.jp

※途中からの参加も歓迎します。前もって連絡できなかった場合でも構いません。

お気軽にお越しください。

